

太陽光発電、バイオマス発電など

## 再生可能エネルギー事業の推進を



原田としじ議員

アメリカの巨大ハリケーンや竜巻、日本の局地的集中豪雨など、地球温暖化の影響とおぼしき異常気象が多発している。2011年に、世界の科学者が参加する

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、人類が石油などの化石燃料を大量消費し二酸化炭素を放出してきた結果、地球が温暖化している可能性が非常に高い、と報告している。地球温暖化を防ぐには、化石燃料から太陽光発電などの再生可能エネルギーへの転換が必要だ。

今一つに原発問題がある。福島第一原発の事故により15万人もの住民が避難を

原田敏司議員は、まず小田原市再生可能エネルギー事業について質問。近年、

大な被害をもたらす長期化する。放射性廃棄物は今なお処理方法が無く、溜まる一方だ。原発の危険性は極めて明白。加藤市長が脱原発、再生可能エネルギー推進を表明したことは高く評価できる。そこで小田原市再生可能エネルギー事業の進捗状況と今後の方針を伺いたい。

### 生ごみを活用しバイオマス発電を

次に、ごみの資源化・減量化の一環として、生ごみ堆肥化は大いに評価でき、更に一層推進すべきと思うが、減量化に限界がある。生ごみを活用したバイオマス発電の研究・検討を行うべきと思うかどうか。また焼却場の廃熱を利用した発電も検討すべきと思うが見解を伺いたい。

### 小田原産木材の利活用と新築・リフォーム助成の制度設計を

最後に、タウン誌に「おだわら木材流

強い原発事故は甚故は甚

通センター」が開設されたと報じられているが、小田原産木材の利活用が一歩前進したと言えるのか。これにより小田原産木材を活用した新築・リフォーム助成の制度設計も進むのか。また木質バイオマス発電の可能性について見解を伺う。

### 【市長】

「ほうとくエネルギー(株)」を設立し、大規模太陽光発電（メガソーラー）及び公共施設の屋根貸し太陽光発電の研究に着手。生ごみのバイオマス発電は課題が多い。小田原産木材の利活用は一歩前進。これにより新築・リフォーム助成の制度設計も進める。

## 安心安全な認可保育所

## 城山乳児園を廃止すべきではない



田中りえ子議員

働く母親が増えているが、経済的に大変な家庭が増えていると強調。本市の平成25年4月の保育所申し込み者数は、特に0歳、1歳児の申し込みが多いが、この現象をどのように捉えているのか質問。また、国による公立保育所の国庫負担金

田中利恵子議員は始めに待機児童に関して、子どもを早くから保育所に預けて働く母親が増えているが、経済的に大変な家庭が増えていると強調。本市の平成25年4月の保育所申し込み者数は、特に0歳、1歳児の申し込みが多いが、この現象をどのように捉えているのか質問。また、国による公立保育所の国庫負担金

の廃止・一般財源化は、6割を超す市や区が保

の廃止理由を質しました。小田原市社会福祉センターの今後のあり方は福祉に特化して活用すべき

これまで市は、社会福祉センターの今後のあり方について、現建物を継続して使用することが可能かどうかを検証する。市としてどのような活用が考えられるのかなど、広範に検討したいと答弁をしているが、その進捗よく状況を質しました。



## 子どもたちが安心して育つ小田原の教育を



関野たかし議員

関野隆司議員は、市の教育について、いじめ、不登校等への小田原市の現状と

③子どもの自主的活動の比率を高めるなど、いじめを止める人間関係をつくる。④被害者の安全を確保し、加害者にはいじめを止めるまでしっかり対応する。⑤被害者、遺族の知る権利を尊重する。以上日本共産党の提案について見解を

【市長】公営墓地のあり方を考えた上で、合葬式墓地の整備について検討したい。

### 久野霊園に合葬式墓地の整備を

次に合葬式墓地の整備について質問しました。最近樹林墓地が小平市に出来たと報道されている。小田原市も久野霊園に合葬式墓地を整備する時期にきているのではないかと。市民の要望に応え、整備すべきと求めました。

### 【市長】

合葬式墓地の整備について検討したい。



対応、その解決方策について質問しました。いじめの取り組みとしていじめから子どもの命を守る。いじめ対応の基本原則を確立することが必要として、

①いじめへの対応を後回しにしない  
②いじめの解決は、みんなの力で、ささいなことに見えても様子見せず、全教員、全保護者に知らせる。

各議員の質問の詳細については議員にお聞きください

# みなさんと一緒に実現できました

日本共産党小田原市議団は、みなさんの切実な要望を取り上げ、議会で質問し、実現に力を尽くしています。最近、特に今年3月議会および6月議会において実現したことについてお知らせいたします。

## ☆ 小児医療費助成制度を小学6年まで拡充

小児医療費助成の拡充を求め、10月から小学6年まで無料化に（現行小学3年まで）



## ☆ 精神障害1級も重度障害者医療費助成制度の対象に

精神障害を重度障害者医療費助成の対象にすることを要求し、4月から精神障害1級が対象に

## ☆ 小中学校の全ての普通教室に扇風機取り付け

夏の暑さ対策を求め、小中学校の全ての普通教室に扇風機が取り付けられることに



## ☆ 一般会計からの繰り入れを増やし、国保料の引き上げ抑制

医療給付費が増える中、一般会計からの繰り入れを増やし、国保料を前年度と同額に据え置き（なお保険料は毎月の徴収から、7月～翌年3月までの9ヶ月間の徴収に変更され、1回当たりの徴収額は33%引きあがりです）

## ☆ 城山陸上競技場の大改修の実施

傷んだトラックなど城山陸上競技場の改修を要求し、6月議会において予算化



## ☆ 四つの放課後児童クラブ、小学校6年生まで対象に

放課後児童クラブの対象学年の拡充を要求し、試行的に曾我、富士見、報徳、新玉の放課後児童クラブにおいて6年生まで対象に

## ☆ 津波非難ビルの確保や防災無線の拡充

いち早く津波非難ビルを提起し、77施設確保。防災無線も拡充



## その他実現した市民要求

- ☆ 市立病院の医師増員（5人）
- ☆ 特別養護老人ホーム等介護施設の増設
- ☆ 宿泊施設（旧スパウザ）をヒルトンに売却すること決定
- ☆ 下菊川の水害対策工事の推進
- ☆ 市役所の耐震補強工事（免震工法）の実施

## 当面の課題

- ★ 保育所の待機児童の解消
- ★ 市民・専門家と協力し、小田原地下街再生計画の検証を
- ★ 住宅リフォーム助成制度の実現
- ★ 使い勝手のよい市民ホール（文化芸術創造センター）の建設
- ★ 再生可能エネルギー導入の促進
- ★ 生きがいふれあい施設提供事業の充実

## 日本たばこ産業(株) 小田原工場跡地

## イオンタウン(株)に売却

小田原市は8月20日に開催された小田原市議会建設経済常任委員会で「日本たばこ産業(株)から、小田原工場跡地（小田原市久野）のイオンタウン(株)への売却手続きが完了したとの連絡があり、確認したところ所有権が移転していることが判明した」と報告しました。  
イオンタウン(株)は全国で116の近隣型のショッピングセンターを展開し、市が同社へ今後の跡地利用について確認したところ、現在は、事業

計画を作成している状況で、今後はイオンタウン(株)と情報の共有をはかりながら、跡地利用について市は同社と調整をして行くとのこと。  
小田原市ではこれまで大型商業施設の相次ぐ進出で、地元業者の営業を圧迫し、車の渋滞など市民生活を大きく変えてきました。市民が主人公のまちづくりを進めるために市民合意は欠かせません。ご意見ご質問などお寄せ下さい。  
(イオンタウン(株)はイオン(株)の子会社です)

日本共産党の  
無料法律相談  
担当弁護士  
岡村三穂  
9月3日(火)  
次回  
10月1日(火)  
午後1時より  
※予約制ですので、相談される方は、関野、原田、田中までお申し出ください。

法律相談・市政・生活相談は  
下記へご連絡ください  
TEL/Fax 住所  
関野たかし 42-0316 曾我岸90  
原田としじ 48-4931 南鴨宮2-24-14  
田中りえ子 35-5389 扇町1-6-2  
(市役所 市議団控室 33-1789)  
Eメール(代表) tanakarieko@nifty.com